



## 峡南地区英語暗唱大会

10月16日(水)の午後、市川三郷町生涯学習センター(ifセンター)において、峡南地区9校の代表者が集い、英語暗唱大会が行われました。本校からも1年生の部、2年生の部、3年生の部に計4名が出場しました。

▼1年生の暗唱文のタイトルは『Enjoy Summer Festival』。中学1年生2人の下校途中の何気ない会話を軽快に表現してくれました。



▼続いて2年生の暗唱文のタイトルは『The First American Football in Japan ~ The Paul Rusch Story ~』。全277語もの単語からなる長文で、清里(北杜市)ゆかりの人物、ポールラッシュ氏の功績を称える内容です。美しい発音に加えて会場にいる全ての人に語りかけるような発表に思わず引き込まれました。



▼3年生の暗唱文のタイトルは『A Passage to Freedom ~ The Sugihara Story ~』。東洋のシンドラー(第2次世界大戦中に多くのユダヤ人を救った人物)と呼ばれる杉原千敏氏のお話です。2年生の語数を更に上回る334語という長文を最初から最後まで、堂々とした態度で発表しきりました。流暢な英語と豊かな表現力に感動を覚えました。



▼日本語の文章の暗記ですら難しいのに、英長文を暗唱し、文脈に合わせた抑揚に加えて感情表現も豊かな素晴らしい発表をしてくれた4名の代表を心から誇らしく思います。ここまでのみなさんの努力に大きな拍手を送ります。よく頑張りました。



## 全国学力学習状況調査(3年)・県学力把握調査(2年)の結果

今年4月と5月に実施された全国学力学習状況調査(3年生)と県学力把握調査(2年生)の結果をお知らせします。三珠中では各調査の結果を分析し、課題の洗い出しと、課題に対する今後の取組について検討しました。今回の結果を三珠中生徒の学力向上につなげられるよう努力してまいります。

※3年生の全国学力学習状況調査の考察を本校ホームページ(TOPページ下方『教育方針』の直下にある「R6 全国学力・学習状況調査の結果と今後の対策」をクリック)に掲載したのであわせてご覧ください。

### I 3学年全国学力学習状況調査

#### (1) 学力調査の平均正答率

教科	国語	数学
全国との比較	同等	同等

\*上記「全国との比較」は、正答率の平均について、以下の基準に基づいた表記となっています。

かなり上回る	10ポイント以上、上回っている場合
やや上回る	5ポイント以上~10ポイント未満、上回っている場合
同等	±5ポイント未満内にある場合
やや下回る	5ポイント以上~10ポイント未満、下回っている場合
かなり下回る	10ポイント以上、下回っている場合

#### (2) 学習状況調査(質問紙の結果)

質問に対して「肯定的回答」、「肯定的でない回答」か判断し、肯定的な回答の割合を全国と比較。37の質問項目に対して35項目で肯定的回答の割合が全国を上回りました。下回った2項目についても、その差は3ポイント程度でほぼ同等でした。このことより、本校3年生の多くが、心身共に健康的に日常生活や学校生活を送っている様子がうかがえます。

### II 2学年県学力把握調査

#### 学力把握調査の平均正答率

教科	国語	数学	英語
県との比較	やや下回る	やや下回る	同等

\*上記「県との比較」は、3学年の学力調査に準ずる。

# 第1次進路希望調査結果の見方について

山梨県教育委員会は10月16日、山梨県内の中学校を来春卒業する生徒の第1次進路希望調査結果を発表しました。この調査結果は、1学期末の三者懇談等を通して聞き取った、現中学3年生の現時点での進路希望をまとめたもので、この調査結果は毎年11月上旬に発表される山梨県内の公立高校の来年度の定員にも影響を与えるものです。▼中学3年生のみなさんにとっては、自分の行きたいと思っている高校の人気度の目安となるこの調査。きっと多くの人が目にしたのではないのでしょうか。一方、1・2年生は「進路なんて、まだまだ遠い先のこと」と考えている人も多いのではないのでしょうか。そんなことはありません。すぐにみなさんも「受験生」と呼ばれるようになるのです。▼そこで、今号の裏面では、今回公表された第1回進路希望調査結果の地元の公立高等学校について、この結果の見方を解説したいと思います。結果をしっかりと読み取って、自分自身の進路について、じっくり真剣に考えてほしいと思います。

① 区	② 分	③ 前年度定員 (A)	④ 入学希望者数 (B)	⑤ 参考倍率 (B)÷(A)	⑥ 前年同期倍	⑦ 参考前期募集人員 (C)	前期希望者数 (D)	参考倍率 (D)÷(C)	前年同期倍
青 洲	普通	140	152	1.09	1.34	42	33	0.79	1.45
	工業(一括募集)	60	46	0.77	1.25	24	16	0.67	1.38
	商業(一括募集)	70	53	0.76	1.04	28	18	0.64	1.14
	計	270	251	0.93	1.24	94	67	0.71	1.34
甲 府 東	普通	228	421	1.85	1.78	34	103	3.03	4.25
	内 理数コース	40	67	1.68	1.55	6	23	3.83	2.50
	数 コースのみ	-	21	-	-	-	23	-	-

① 高校名(みんな知ってますよね?)

③ 今の高校1年生が受験したときの各学科(高校)の最大合格者数。  
※今の中学3年生も同じ定員とは限りません。

② どんな勉強をするのかを示します。

普通科→中学の延長の様な感じ(進学を目指す)。

工業科→産業界で技術者として働くのに必要な、工業に関する学習をします。

商業科→主にビジネスに関する知識や技術を学び、就職や進学に備えます。

総合学科→進学にも就職にも対応できる学科で、自分の将来の希望に合わせて授業を選択する。

④ 山梨県下の現中学3年生が何人、その学科(高校)を希望しているかが示されている。

⑤ 定員が変わらないと仮定した場合の競争倍率 競争倍率=受験者数÷定員で求められる。

※倍率を見る場合の目安

倍率 1.00 → 定員と受験者数がまったく同数であることを表す。

(全員合格できる保障はなく、高校側が求める基準に達していないと不合格になる場合もある。)

倍率が「1.00」よりも大きい → 定員よりも受験者が多いことを表す。

倍率「2.00」は2人に1人が合格するという意味。倍率「3.00」は3人に1人が合格するという意味。

倍率「1.50」は1.5人に1人が合格→3人に2人が合格するという意味。数字が大きいくほど難しい受験となる。

倍率が「1.00」よりも小さい → 定員よりも受験者が少ないことを表す。

(全員合格できる保障はなく、高校側が求める基準に達していないと不合格になる場合もある。)

⑥ 令和5年の10月に発表されたこれと同じ調査の各学科(高校)の競争倍率

⑦ 定員が去年と変わらないと仮定した場合の、各学科(高校)の前期入試で合格する最大の人数

※青洲高校普通科は定員の30%を前期入試の定員とすると決めています。今年度、仮に定員が140人のままだったとすると

前期募集人員は、140人×30%=42人 となります。定員が確定して初めてこの人数も確定します。

※表のこれより右側については、上の説明を参考にしながら見てください。

(ちなみに現段階で甲府東高校は倍率1.85倍、193人もオーバーしていることがわかります。)

進路を決定する上で「知る」ということはとても重要なことです。

高校入試について、何か疑問点があったら、遠慮なく先生に聞いてみましょう。

3年生はいよいよ進路決定に向けて大詰めに入りました。健康面に注意して精一杯頑張ってください。

1・2年生は、「進路決定はそう遠くない未来のことだ」ということを意識して、中学卒業後、自分はどうな道に進みたいのかを考えてみましょう。考えることによって今自分は何をすべきなのかが見えてきます。